（30一戸）

正答表 国語

1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
貪(り)	塞(ぐ)	陶冶	衷心	隻語
むさぼ(り)	ふさ(ぐ)	とうや	ちゅうしん	せきご
2	2	2	2	2

2

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
カド	シベン	ゼッセン	リョウセイバイ	イチイ
角	至便	舌戦	両成敗	一意
2	2	2	2	2

3

〔問1〕	〔問2〕	〔問3〕	〔問4〕	〔問5〕	〔問6〕
ウ	エ	エ	郷子が迷子になるのではと心配になったが、叱りつけた手前、父親としての姿勢を崩せなかったから。	イ	ア
4	4	4	4	4	4

20　40　50

4

〔問1〕	〔問2〕	〔問3〕	〔問4〕	〔問5〕	〔問6〕
ウ	曖昧なものを曖昧なままに正確に表現する	絶対手放し	ア	イ	エ
4	4	4	4	4	4

20

4

〔問7〕　12

私はアドルノの言うとおり、初歩的なことから取り組むのではなく、自分の手に負えないものにチャレンジする精神が大切だと考える。基本の知識を抑えようとするうちにいつの間にか常識の枠にはまってしまうからだ。

　アインシュタインは数学が苦手で、相対性理論をまとめる時に計算の部分は友人の数学者に頼んだそうだ。時代のパラダイムを変える大発見に必要なのは基礎力ではなく、従来の発想を超えるイマジネーションだ。

25　100　200

（正答例　一九七字）

5

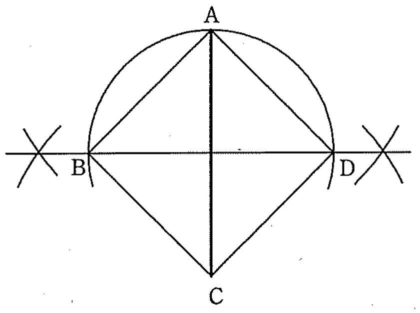
〔問1〕	〔問2〕	〔問3〕	〔問4〕	〔問5〕
イ	ウ	ウ	ア	笑而不答
4	4	4	4	4

数学

正答表

(30一戸)

$\boxed{1}$		点
〔問 1〕	$\frac{\sqrt{6}-4}{3}$	5
〔問 2〕	$\frac{-5\pm\sqrt{13}}{2}$	5
〔問 3〕	$x=2$ ， $y=11$	5
〔問 4〕	$\frac{7}{72}$	5
〔問 5〕 解答例		5



$\boxed{2}$		点
〔問 1〕	$-\frac{1}{2}$	6
〔問 2〕	$y=\frac{5}{9}x$	7
〔問 3〕 解答例	【 途中の式や計算など 】	12

2 点 P，Q の座標は，

$\mathrm{P}\left(\frac{5}{t}, t\right)$，$\mathrm{Q}\left(t, -\frac{1}{3}t^2\right)$ である。

線分 PQ の中点の y 座標が -3 であるから，

$$t-(-3)=-3-\left(-\frac{1}{3}t^2\right)$$

よって，　$t^2-3t-18=0$

$$(t+3)(t-6)=0$$

$t>0$ であるから，$t=6$

このとき，$\mathrm{P}\left(\frac{5}{6}, 6\right)$，$\mathrm{Q}(6, -12)$ となるから，

△PQR において PR を底辺とみると，$\mathrm{PR}=\frac{5}{6}$

高さは 2 点 P，Q の y 座標から，

$6-(-12)=18$ である。

したがって，△PQR の面積は，

$$\frac{1}{2}\times\frac{5}{6}\times18=\frac{15}{2}\quad(\mathrm{cm}^2)$$

(答え)　$\frac{15}{2}$　cm^2

$\boxed{3}$		点
〔問 1〕	50　度	6
〔問 2〕 解答例	【 証 明 】	12

△ACE と △CGE において，

共通な角であるから，

∠AEC=∠CEG　… ①

$\overset{\frown}{\mathrm{BC}}$ に対する円周角は等しいから，

∠CAB=∠CDB

よって，　∠CAE=∠CDB　… ②

仮定より，BD∥GC であるから，

同位角は等しいので，

∠CDB=∠GCE　… ③

②，③より，

∠CAE=∠GCE　… ④

①，④より，2 組の角がそれぞれ等しいから，

△ACE ∽ △CGE

〔問 3〕	$\frac{22}{3}$　倍	7

$\boxed{4}$		点
〔問 1〕	8　通り	8
〔問 2〕	12　cm^3	7
〔問 3〕 解答例	【 途中の式や計算など 】	10

単位（cm）は省略して記述する。

△OAB において，中点連結定理により，

$$\mathrm{PQ}=\frac{1}{2}\mathrm{AB}=1$$

BE=4 であるから，

△OBE は 1 辺の長さが 4 の正三角形で，

点 Q は辺 OB の中点であるから，$\mathrm{EQ}=2\sqrt{3}$

点 Q から線分 DE に引いた垂線を QR とする。

四角形 PQDE は，PQ∥ED かつ PE=QD の台形で，

PQ=1，ED=2 であるから，

$$\mathrm{DR}=\frac{1}{2},\ \mathrm{ER}=\frac{3}{2}$$

△QRE において，三平方の定理により，

$$\mathrm{QR}^2=\mathrm{EQ}^2-\mathrm{ER}^2$$

$$=(2\sqrt{3})^2-\left(\frac{3}{2}\right)^2=\frac{39}{4}$$

△QDR において，三平方の定理により，

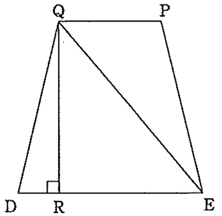
$$\mathrm{QD}=\sqrt{\mathrm{QR}^2+\mathrm{DR}^2}$$

$$=\sqrt{\frac{39}{4}+\left(\frac{1}{2}\right)^2}=\sqrt{10}$$

$$\mathrm{PE}=\mathrm{QD}=\sqrt{10}$$

ゆえに，求める長さは，

$$2\sqrt{10}+1+2=2\sqrt{10}+3$$



(答え)　$2\sqrt{10}+3$　cm

小計 $\boxed{1}$	小計 $\boxed{2}$	小計 $\boxed{3}$	小計 $\boxed{4}$
25	25	25	25

合計得点
100

受検番号

※ □の欄には、記入しないこと

(30ー戸)

正答表　英語

1	〔問題A〕	〈対話文1〉		〈対話文2〉		〈対話文3〉		A 4点 A 4点 A 4点
	〔問題B〕	〈Question 1〉						B1 4点
		〈Question 2〉	※ 1 については、共通問題の正答に同じ					B2 4点

2	〔問1〕	カ	〔問2〕	ウ	1 4点 2 4点
	〔問3〕	エ	〔問4〕	イ	3 4点 4 4点
	〔問5〕	ア	〔問6〕	エ	5 4点 6 4点
	〔問7〕	イ	オ		7 4点 7 4点
	〔問8〕	(a) different	(b) traditional		8(a) 2点 8(b) 2点
		(c) quickly	(d) history		8(c) 2点 8(d) 2点

3	〔問1〕	エ	〔問2〕	ア	〔問3〕	イ	1 4点 2 4点 3 4点
	〔問4〕	ウ	〔問5〕	ウ			4 4点 5 4点
	〔問6〕	イ	キ				6 4点 6 4点
	〔問7〕	(解答例) I was more impressed with Lindbergh. The Wright brothers played a great role in the history of flight, but Lindbergh also did a greater thing. He had a lot of problems during his flight, but he didn't give up. Thanks to his long flight, we can go abroad easily. (49 words)					7 12点